

ねむろトピックス

落石へき地保育所のおともだち

夢・ままきくなった



北 遥汰くん（4才）
“はちまきしている、さかなやさん”
になりたい!



五十嵐 渚月希ちゃん（6才）
“お客さんをかわいくしてあげる、
パーマやさん” になりたい!



坂井 佑公人くん（5才）
“ちょびっただけ消防士になりたいけど
ゲームに出てくる強いスネーク” になりたい!

DREAM



5月3日、市総合文化会館で「子どもの日のつどい」が開催されました。手作り遊びコーナーやマジックショーなど、多くの親子でにぎわいました。

「ロシア200海里水域内サケ・マス流網漁船」の小型船が5月9日、中型船が15日に花咲港から出漁しました。岸壁には大勢の家族や関係者が見送りました。



5月18日、ふるさと根室協働事業「シーサイドクリーンプロジェクト2008」（桂木海岸・友知海岸一斉清掃活動）を、地域住民・行政およびボランティアの人たちとの協働により実施しました。

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター



〒086-0074
根室市東梅103番地
☎0153-25-3047

「マスコットバードの子育て」

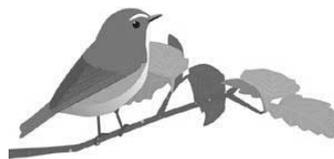
ゴールデンウィーク頃、春国岱や根室の森にスズメくらいの大きさの青い小鳥がやってきます。飛来してすぐは、“ヒヒョロリ、ヒーヒョロロリッ”と早口に鳴いて繁殖のためのなわばりを主張したり、追いかけてこをしたり、お嫁さんを探したりと大忙しです。そのせいなのか分かりませんが、この時期は人目を気にせず、すぐ目の前に止まってくれることが結構あります。

頭・背中・尾羽が青灰色で脇がオレンジ色のこの鳥はルリビタキと呼ばれ、同じく青いオオルリ、コルリとあわせて“瑠璃三鳥”と呼ばれています。根室市でも瑠璃三鳥は確認されていますが、オオルリ、コルリはめったに根室を訪れてくれません。ですから、根室で一番なじみのある青

い鳥はルリビタキということになり、春国岱のマスコットバードにもなっています。

夏の間ルリビタキは、針葉樹林などで繁殖をします。小鳥の巣というと木の上というイメージがありますが、なんとルリビタキは地上に巣を作ります。林内の土手のような所にできた窪地に、コケやシカの毛などを使って、浅いお椀のような形の巣を作ります。林道や作業道のすぐ脇に巣を作ることもあるため、うかつに近づくと親鳥が警戒してしまいますから、注意が必要です。4から5個の白い卵を、2週間くらい温めるとヒナが生まれます。この間、大変なのはメスです。2週間ずっと卵を抱いていなければなりません。

ルリビタキはオスだけがきれいな青色をしていますが、若鳥のうちはオスもメスもそんなに違いがありません。オスが立派な成鳥羽となるまでには、4年もの歳月が必要だといわれています。今年産まれるヒナたちがまた根室に戻ってきてくれるように、豊かな森を大切にしていきたいものです。



<ルリビタキ> (レンジャー 手嶋 洋子)